

採用企画「トイレぷろじえくと ~これからのトイレを考える~」

(代表者 森島志帆)

企画概要

トイレの表示の色は「女なら赤」「男なら青」と知らず知らずの内に固定概念にとらわれていないか、また、利用しやすく、安心・安全なトイレにするためには？各地のトイレを調査・アンケートを実施し、使いやすいトイレを提案する。

結果報告

アンケート・調査のみの実施となりました。まとめとしてリーフレットを男女共同参画センター用、学生用と作成しました。まだ、できていませんが、リーフレットはホームページからも配布予定です。

【表示について】

色の区別が「差別」という意識はないようです。実際にそれで被害を被った事はないし、何よりも「わかりやすい」というのが理由かと思います。しかし、それだけでは赤と青である必要性までは説明できません。また、ベビーチェア等の表示も赤のものもあります。「子どもの世話＝女がするも」のという概念の現われではないでしょうか。最近では男女両方のトイレにその設備も整い、赤ではない色を使っているものが増えているようです。

海外では、色でわけているところはありません。日本独自のものでしょう。

【環境について】

<音>

女性だけの意見が多いかと思ったのですが、男性からも「静か過ぎる」という要望が上がったことに驚きました。また、ほとんどの女性は音姫があれば使うと回答されました。節水にも繋がるので、是非にご検討を！

<緊急ブザー>

学内にもありますが、どこにつながるのかわからないので押したところで本当に来てくれるのか、誰が来てくれるのか全くわかりません。どこに繋がるか、どこのスタッフが来るのか、それも明記しておくべきではないでしょうか？

<情報発信>

ココロノキオクさんもトイレで展示をされていましたが、トイレは意外と情報発信の場として使えるかもしれません。男女共同参画センターでは、DV相談カードを置いているところもありました。高速道路のサービスエリアでも、おみやげものの宣伝をしてい

るところがありました。学校では学生相談室のカードをおく、とかその他告知にも意外と使えるのではないのでしょうか？ただ、水周りなので防水・破けないような加工（ラミネート等）をしておいた方が良いでしょう。ぐちゃぐちゃになって荒れていたのでは清潔さを損ないます。

感想・まとめ

インタビューできなかったことが悔やんでも悔やみきれません。計画はもっと綿密に立てておくべきでした。

男女共同参画センターからのアンケートが思いのほか集まって驚きました。データ集計が大変だった分、いろいろな考え方が見えておもしろかったです。

丁度海外に行く機会もあり、海外のトイレにも注目できたので、違いも分かって楽しかったです。色は分けられていないし、海外は音に対して特に何も思っていないみたいです。

アンケートも、二回くらいやれば良かったと後悔しています。実施したものでは、表面的な違いは見られましたが、“何故”という内面的な部分が抜けていたので理由は想像に留まりました。今年の神山祭で結果報告と共に、その辺りのアンケートも一緒に実施できれば、と思います。

正式な文書の書き方といった様な外部との関わり方や、新しいことに足を踏み入れる時に、大学の職員の方々には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

なんだか後悔ばかりしていますが、トイレから社会が垣間見えてとってもおもしろかったですよ！サギタリウスチャレンジが終わっても、個人でできる限りやっっていこうと思っています。